



株式会社タケエイ(東1: 2151)

2019年3月期 決算補足説明資料



2019年2月1日より営業運転を開始した㈱大仙バイオマスエナジー 協発電所(2019年5月撮影)

決算の概況(連結)



<累計>

単位:百万円

	2018/3 <実績>		2019/3 <予想>			2019/3 <実績>			(計画比)
	売上高比	前年同期比	売上高比	前年同期比	売上高比	前年同期比	前年同期比		
売上高	31,084	—	32,400	—	+4.2%	32,271	—	+3.8%	-0.4%
営業利益	2,402	7.7%	2,000	6.2%	-16.7%	2,125	6.6%	-11.5%	+6.3%
経常利益	2,292	7.4%	1,700	5.2%	-25.8%	1,814	5.6%	-20.9%	+6.7%
税金等調整前 当期純利益	2,306	7.4%	850	2.6%	-63.1%	902	2.8%	-60.9%	+6.2%
当期純利益◆	1,356	4.4%	180	0.6%	-86.7%	275	0.9%	-79.7%	+53.1%

◆親会社株主に帰属する当期純利益 ※百万円未満切捨て
(注)2019年3月期の予想は、2018年10月30日付で修正した値

<四半期>

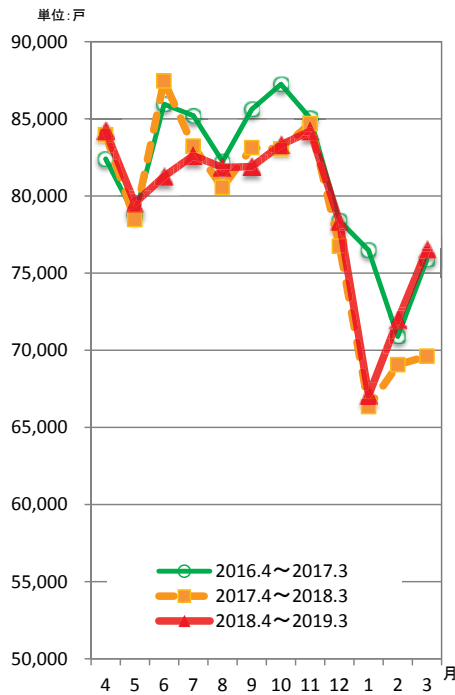
単位:百万円

	第1四半期 <実績>			第2四半期 <実績>			第3四半期 <実績>			第4四半期 <実績>		
	売上高比	前年同期比	前年同期比	売上高比	前年同期比	前年同期比	売上高比	前年同期比	前年同期比	売上高比	前年同期比	
売上高	7,380	—	+3.9%	7,863	—	+3.5%	8,039	—	+1.4%	8,988	100.0%	+6.3%
営業利益	207	2.8%	-62.4%	529	6.7%	-0.6%	696	8.7%	-4.5%	692	7.7%	+17.7%
経常利益	-6	—	—	495	6.3%	+1.2%	666	8.3%	-9.2%	658	7.3%	+18.0%
税金等調整前 四半期純利益又は純損失	-197	—	—	-137	—	—	675	8.4%	-6.1%	561	6.2%	-1.2%
四半期純利益又は純損失◆	-272	—	—	-245	—	—	420	5.2%	-12.9%	373	4.1%	+8.5%

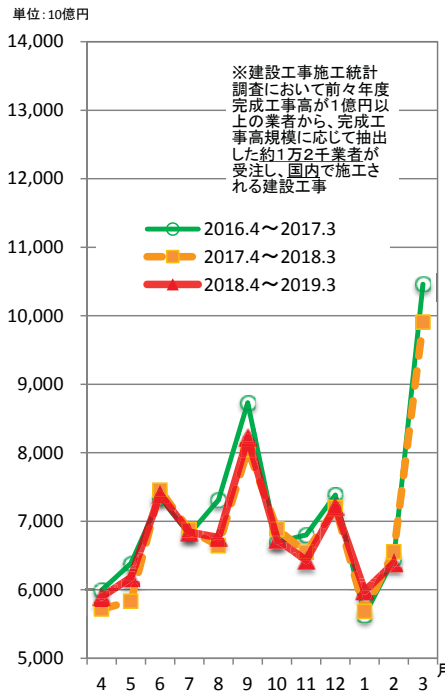
◆親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失 ※百万円未満切捨て

(出所:国土交通省)

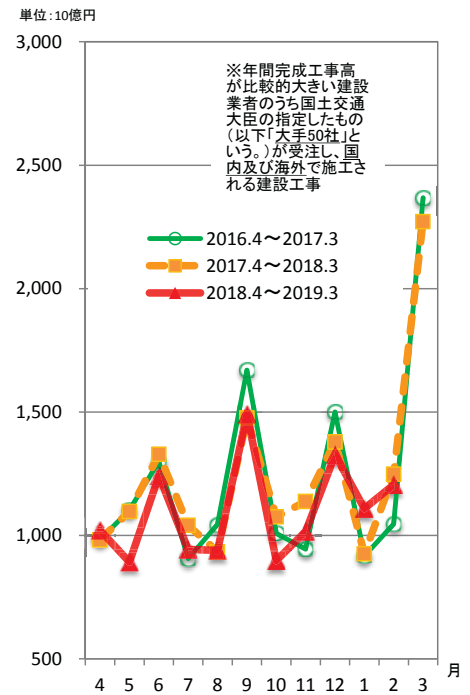
新設住宅着工戸数



建設工事受注



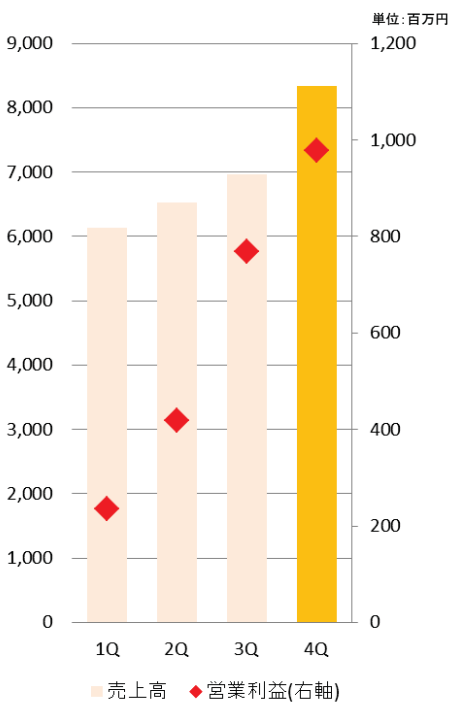
建設工事受注(大手50社)



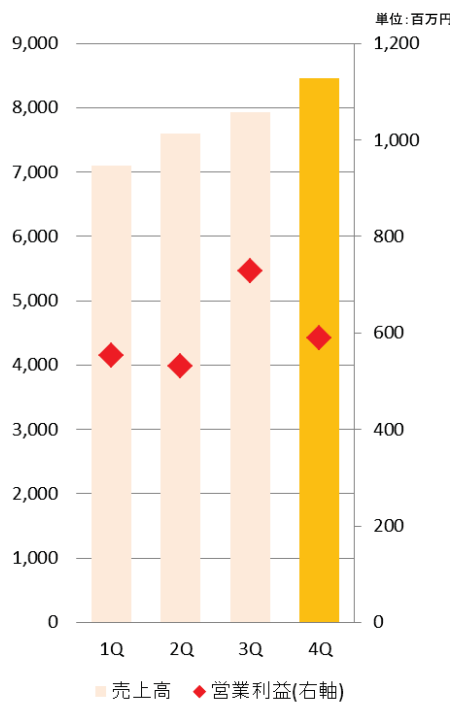
(注):建設工事受注及び建設工事受注(大手50社)は、公表されている2019年2月の金額まで記載

直近3事業年度における四半期決算比較 (連結)

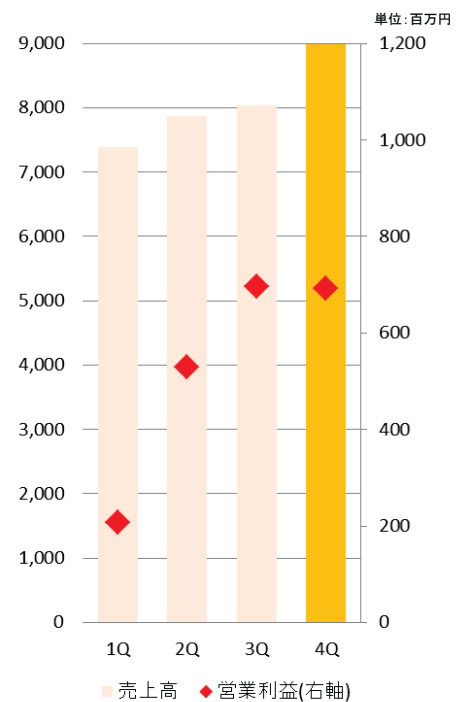
2017年3月期
売上高・営業利益



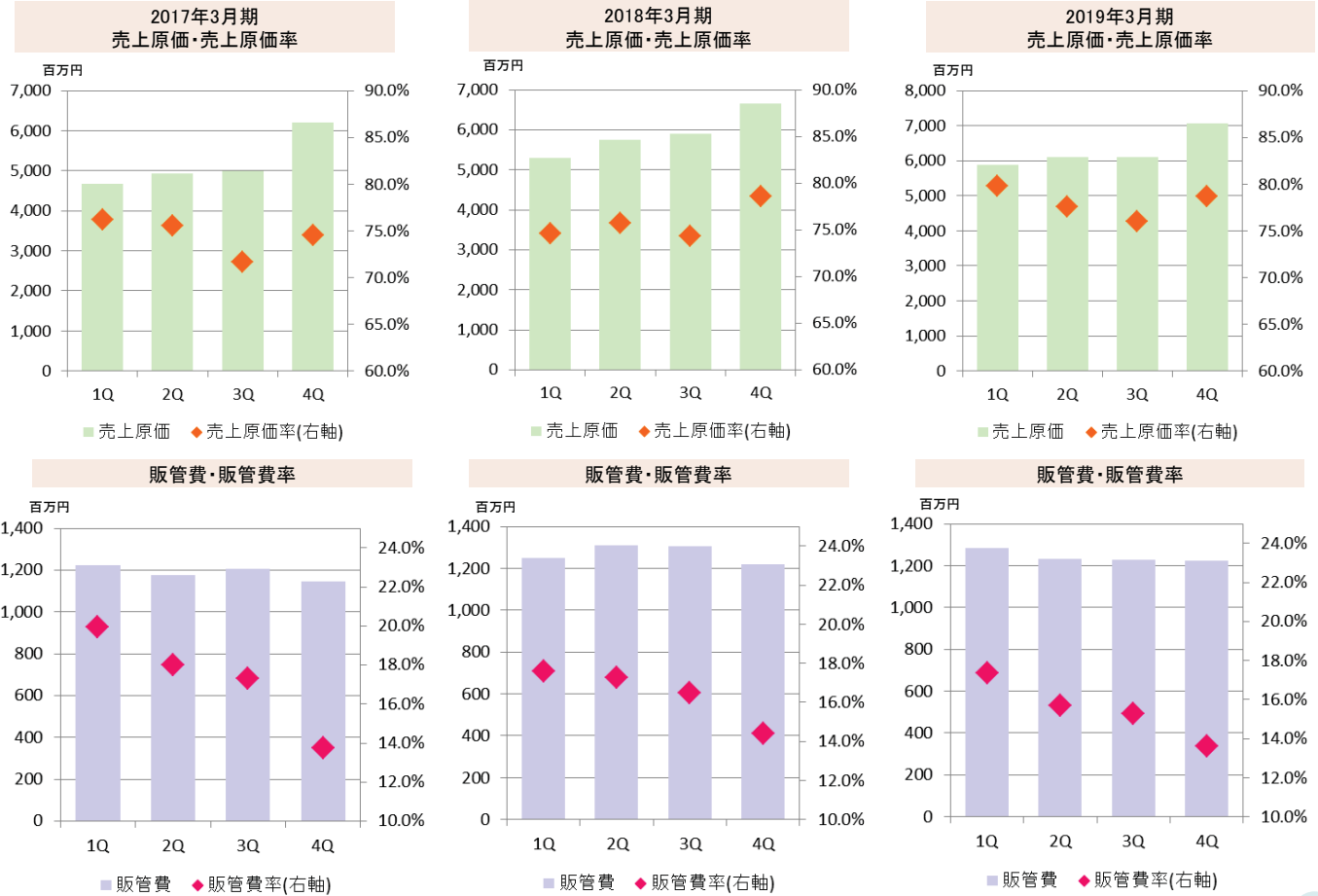
2018年3月期
売上高・営業利益



2019年3月期
売上高・営業利益



直近3事業年度における四半期決算比較（連結）



セグメント別売上高／利益（連結）〈累計〉

単位: 百万円

セグメント	売上高			セグメント利益			セグメント利益率	
	2018/3	2019/3	前年同期比	2018/3	2019/3	前年同期比	2018/3	2019/3
連結	31,084	32,271	+3.8%	2,459	2,113	-14.1%	7.9%	6.5%
廃棄物処理・リサイクル事業 〔(株)タケエイ含む〕	22,134	22,973	+3.8%	1,783	1,661	-6.8%	8.1%	7.2%
再生可能エネルギー事業	2,828	3,042	+7.6%	158	185	+17.1%	5.6%	6.1%
環境エンジニアリング事業	5,080	4,983	-1.9%	338	100	-70.4%	6.7%	2.0%
環境コンサルティング事業	1,041	1,272	+22.2%	178	165	-7.3%	17.1%	13.0%

※百万円未満 切捨て

(注) 1: 各セグメントにおける売上高は「外部顧客への売上高」
 (注) 2: セグメントのうち、環境エンジニアリング事業は富士車輛(株)

グループ各社の売上／営業利益（連結）＜累計＞

単位：百万円

会社名	売上高		営業利益		営業利益率		主な業務
	2018/3	2019/3	2018/3	2019/3	2018/3	2019/3	
連結	31,084	32,271	2,402	2,125	7.7%	6.6%	
＜廃棄物処理・リサイクル事業＞							
（株）タケエイ	14,705	15,630	781	427	5.3%	2.7%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・リサイクル・最終処分
＜マテリアル＞							
（株）池田商店	715	841	186	281	+17.6%	33.4%	再生骨材・再生砕石への再資源化
（株）ギプロ	865	803	317	290	-7.2%	36.1%	石膏ボードの再資源化
（株）グリーンアローズ関東	381	383	16	8	+0.7%	2.1%	石膏ボードの再資源化
（株）グリーンアローズ東北	230	226	-38	-37	-2.0%		石膏ボードの再資源化
（株）タケエイメタル	1,151	1,146	75	95	-0.5%	8.3%	鉄・非鉄スクラップの再資源化
東北交易（株）	314	248	18	35	-21.2%	5.7%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石製造（再資源化）
イコールゼロ（株）	1,495	1,487	107	86	-0.5%	5.8%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・リサイクル
（株）タケエイグリーンリサイクル	587	639	-83	-40	+8.7%	—	生木等の再生資源化、再生エネルギー原料化
＜ランドフリール＞							
（株）北陸環境サービス	1,454	1,136	547	432	-21.9%	38.0%	管理型最終処分場の運営、廃プラスチックの再資源化
（株）信州タケエイ	905	1,037	-62	33	+14.6%	3.2%	産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化、解体等
（株）タケエイエナジー&パーク	109	113	19	20	+3.9%	17.7%	パークゴルフ場運営、太陽光発電
（株）門前クリーンパーク	—	—	-24	-29	—	—	＜事業準備会社＞管理型最終処分場
＜再生可能エネルギー事業＞							
（株）T.Vエナジーホールディングス	—	—	-0.2	-0.2	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
（株）津軽バイオマスエナジー	1,499	1,556	108	144	+3.8%	9.2%	木質バイオマス発電
（株）花巻バイオマスエナジー	1,470	1,454	140	110	-1.1%	7.5%	木質バイオマス発電
（株）田村バイオマスエナジー	—	—	-32	-39	—	—	＜事業準備会社＞木質バイオマス発電
（株）横須賀バイオマスエナジー	—	—	-18	-25	—	—	＜事業準備会社＞木質バイオマス発電
（株）大仙バイオマスエナジー	—	204	-1.6	-39	—	—	木質バイオマス発電
花巻バイオチップ（株）	591	632	-6	16	+6.8%	2.6%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
（株）津軽あつふるパワ―	124	176	8	16	+42.0%	9.3%	小売電気事業
（株）花巻鯉河パワ―	83	369	9	44	+345.3%	11.8%	小売電気事業
（株）大仙こまちパワ―	—	67	—	-0.2	—	—	小売電気事業
＜環境エンジニアリング事業＞							
富士車輛（株）	5,572	5,129	351	100	-8.0%	6.3%	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
＜環境コンサルティング事業＞							
環境保全（株）	663	743	79	74	+12.1%	10.0%	環境計量証明事業
（株）アースアプレイザル	537	692	108	92	+28.9%	13.3%	環境コンサルティング
消去	-2,367	-2,441	-203	30			

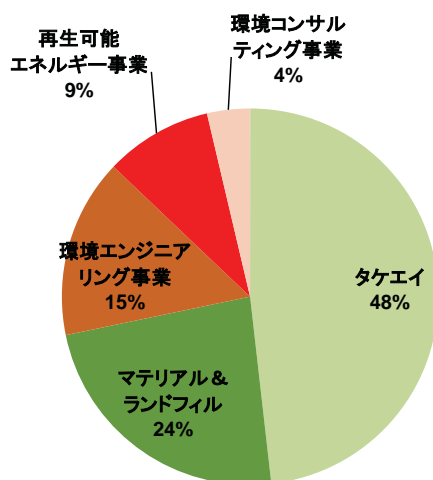
※百万円未満 四捨五入（連結数値のみ切捨て）

（注）2019年3月期より、（株）タケエイグリーンリサイクル及び（株）タケエイエナジー&パークは、従来の＜再生可能エネルギー事業＞から＜廃棄物処理・リサイクル事業＞へセグメント変更

セグメント別[タケエイ別記]売上構成比（連結）

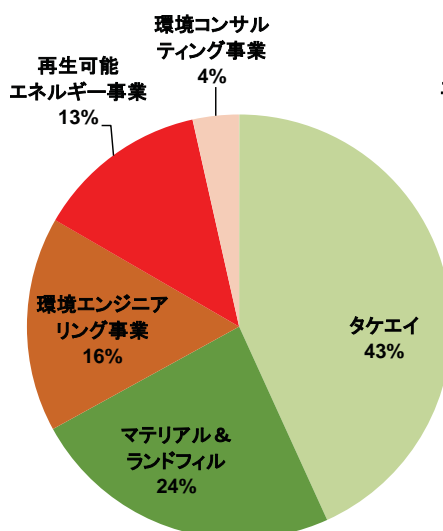
2017年3月期

売上高 27,973百万円



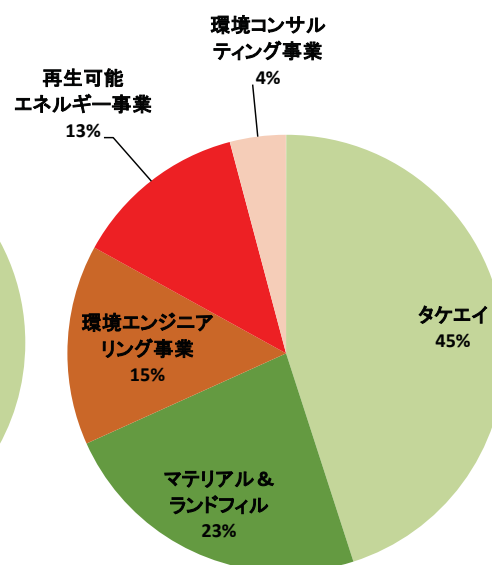
2018年3月期

売上高 31,084百万円



2019年3月期

売上高 32,271百万円



(注) 1: セグメントのうち、廃棄物処理・リサイクル事業のタケエイとその他(マテリアル&ランドフィル)を分けて記載

(注) 2: セグメント別の比率は、グループ各社の連結消去前売上高の単純合算を100とした構成比

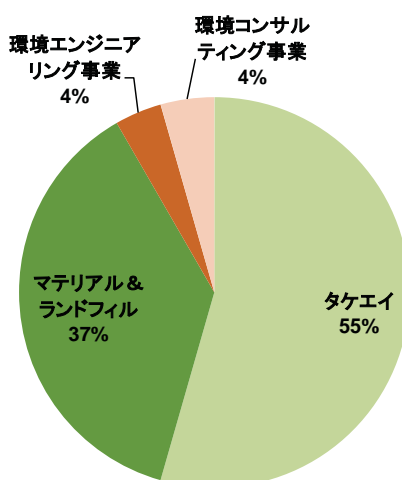
(注) 3: セグメントのうち、環境エンジニアリング事業は富士車輛㈱1社が行う

(注) 4: 2019年3月期より、(株)タケエイグリーンリサイクル及び(株)タケエイエナジー&パークは、従来の<再生可能エネルギー事業>から<廃棄物処理・リサイクル事業>へセグメント変更

セグメント別[タケエイ別記]営業利益構成比（連結）

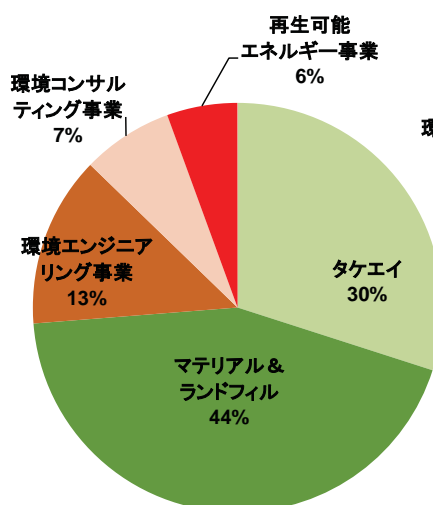
2017年3月期

営業利益 2,400百万円



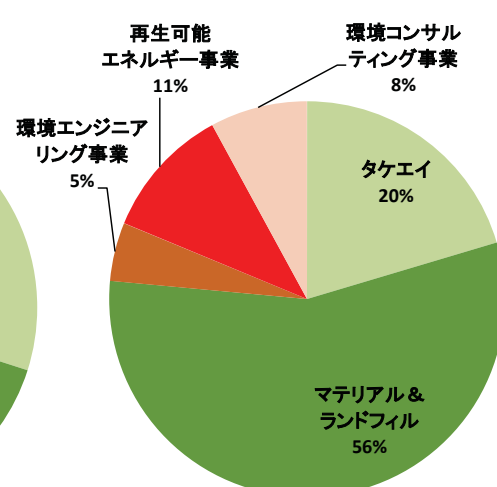
2018年3月期

営業利益 2,402百万円



2019年3月期

営業利益 2,125百万円



(注) 1: セグメントのうち、廃棄物処理・リサイクル事業のタケエイとその他(マテリアル&ランドフィル)を分けて記載

(注) 2: セグメント別の比率は、グループ各社の連結消去前売上高の単純合算を100とした構成比

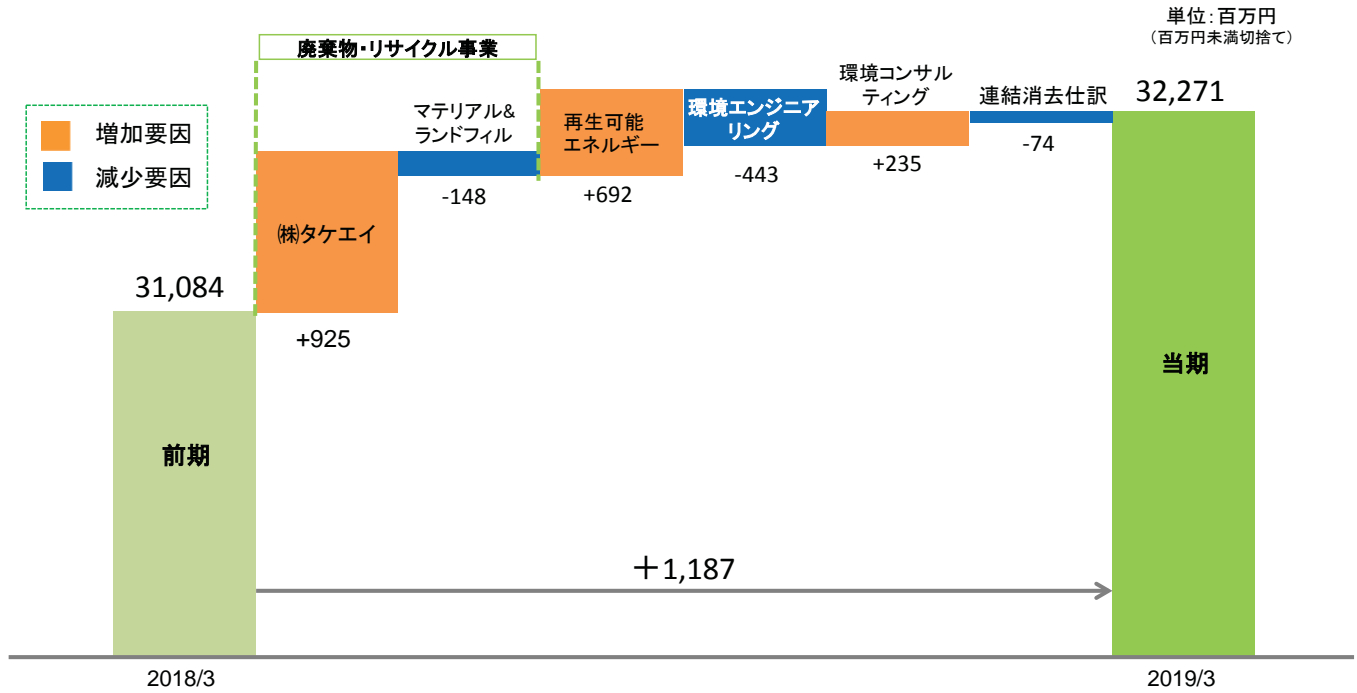
(注) 3: セグメントのうち、環境エンジニアリング事業は富士車輛㈱1社が行う

(注) 4: 営業赤字セグメント(2017年3月期の再生可能エネルギー事業)は記載から除外

(注) 5: 2019年3月期より、(株)タケエイグリーンリサイクル及び(株)タケエイエナジー&パークは、従来の<再生可能エネルギー事業>から<廃棄物処理・リサイクル事業>へセグメント変更

セグメント別売上高 増減分析 (連結)

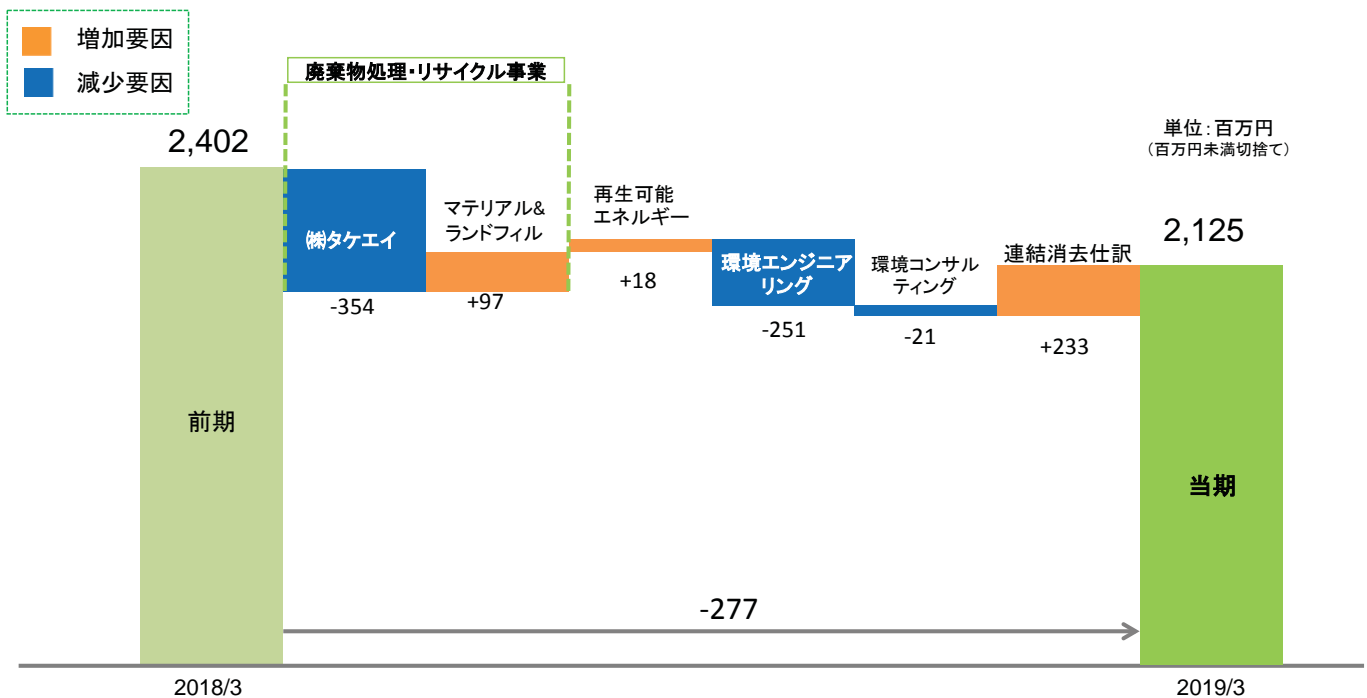
- (株)タケエイ: 首都圏での再開発やインフラ整備に加え、福島県双葉郡葛尾村広域処理における収集運搬業務等も寄与。
- 再生可能エネルギー: 安定稼働中の2発電所に加え、3カ所目の大仙BEが4Qより稼働開始。小売電気事業も好調。
- 環境エンジニアリング: 対タケエイ売上の減少と大型案件が次期にずれこんだことにより減収



(注)1: セグメント別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算

セグメント別営業利益 増減分析 (連結) ①

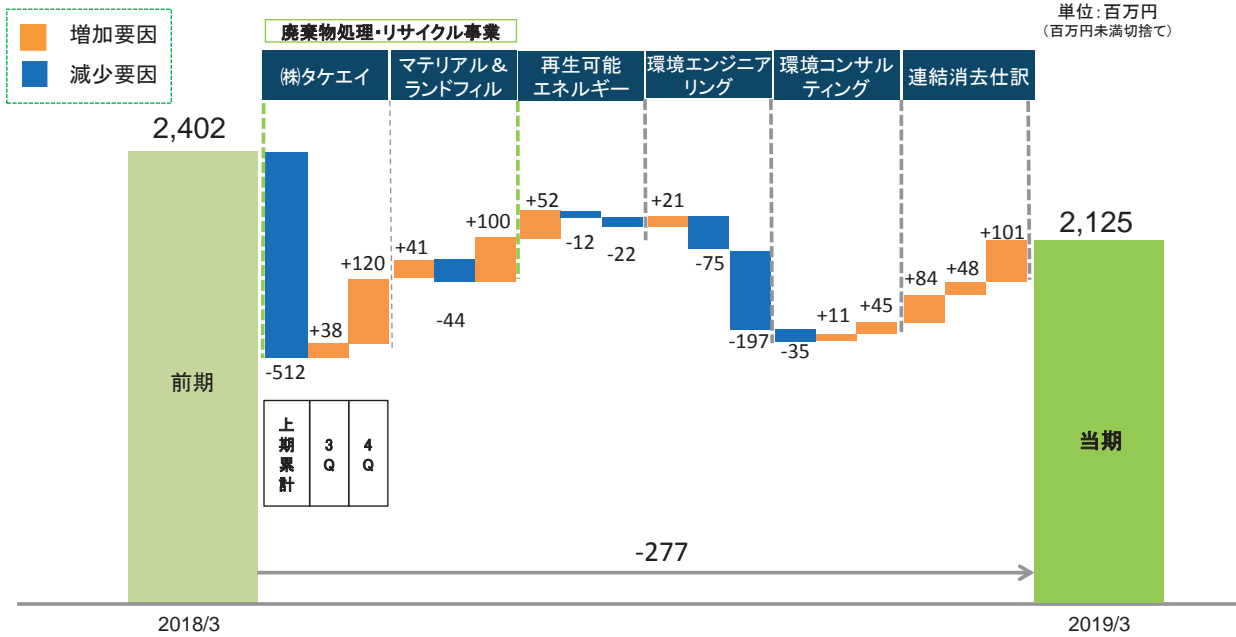
- (株)タケエイ: 処分原価・収運原価の高騰が尾を引いたものの、生産性向上や分・選別強化により下期は改善(次頁参照)。
- マテリアル&ランドフィル: 在庫圧縮および新規取引先への営業強化が結実し、利益確保。
- 環境エンジニアリング: 受注残は確保しているが、比較的利益率の高い環境プラント工事案件減少に伴い減益。



(注)1: セグメント別の数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算

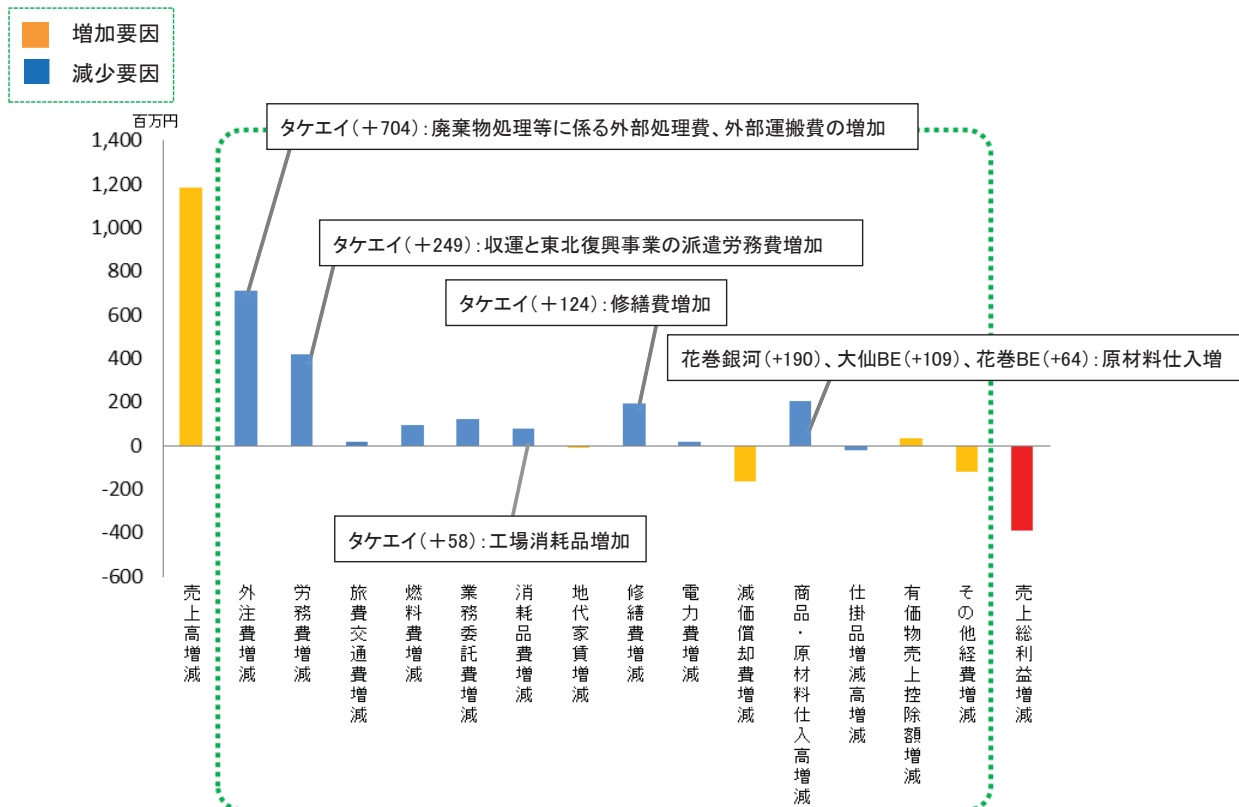
セグメント別営業利益 増減分析 (連結) ②

前頁の категория別営業利益増減を、上期累計と3Q・4Qに分解



(注)1: セグメント別の数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算

粗利益増減分析 (売上高・主要費用項目) (連結)



損益動向 (連結)

Only One Earth

単位:百万円

	2019/3																				
	※前年同期増減				第1四半期 (1Q)				第2四半期 (2Q)				第3四半期 (3Q)				第4四半期 (4Q)				
	売上高	増減	前同比	売上高比	売上高	増減	前同比	売上高比	売上高	増減	前同比	売上高比	売上高	増減	前同比	売上高比	売上高	増減	前同比	売上高比	
売上高	32,271	100.0%	+3.8%	7,863	100.0%	+3.9%	7,863	100.0%	8,040	100.0%	+1.4%	8,988	100.0%	+1.4%	8,988	100.0%	8,988	100.0%	+1.4%	8,988	100.0%
売上原価	25,175	78.0%	+6.7%	5,890	79.8%	+11.2%	6,101	77.6%	6,114	76.1%	+9.7%	7,070	78.7%	+9.7%	7,070	78.7%	7,070	78.7%	+9.7%	7,070	78.7%
外注費	8,213	25.4%	+9.5%	2,071	28.1%	+16.3%	1,878	23.9%	2,122	26.4%	+11.7%	2,141	23.8%	+11.7%	2,141	23.8%	2,141	23.8%	+11.7%	2,141	23.8%
労務費	6,084	18.9%	+7.4%	1,498	20.3%	+9.1%	1,484	18.9%	1,561	19.4%	+8.3%	1,541	17.1%	+8.3%	1,541	17.1%	1,541	17.1%	+8.3%	1,541	17.1%
総費	12,149	37.6%	+6.4%	2,689	36.4%	+0.5%	2,740	34.8%	2,976	37.0%	+0.1%	3,744	41.7%	+1.7%	3,744	41.7%	3,744	41.7%	+1.7%	3,744	41.7%
(注) 旅費交通費	548	1.7%	+3.5%	134	1.8%	+4.3%	135	1.7%	143	1.8%	+1.4%	136	1.5%	+7.0%	136	1.5%	136	1.5%	+7.0%	136	1.5%
燃料費	765	2.4%	+14.7%	183	2.5%	+17.0%	193	2.5%	207	2.6%	+18.8%	183	2.0%	+18.8%	183	2.0%	183	2.0%	+18.8%	183	2.0%
業務委託費	654	2.0%	+23.4%	135	1.8%	+2.8%	124	1.6%	157	2.0%	+12.5%	238	2.7%	+12.5%	238	2.7%	238	2.7%	+12.5%	238	2.7%
消耗品費	852	2.6%	+10.3%	224	3.0%	+50.9%	203	2.6%	199	2.5%	+11.9%	225	2.5%	+8.1%	225	2.5%	225	2.5%	+8.1%	225	2.5%
地代家賃	246	0.8%	-0.1%	59	0.8%	-5.1%	63	0.8%	62	0.8%	+2.6%	62	0.7%	+2.6%	62	0.7%	62	0.7%	+2.6%	62	0.7%
リース料	289	0.9%	+13.6%	65	0.9%	-14.2%	61	0.8%	79	1.0%	+30.8%	84	0.9%	+30.8%	84	0.9%	84	0.9%	+30.8%	84	0.9%
修繕費	1,177	3.6%	+20.2%	292	3.4%	+13.6%	288	3.7%	384	4.8%	+48.4%	253	2.8%	+18.7%	253	2.8%	253	2.8%	+18.7%	253	2.8%
電力費	426	1.3%	+5.0%	56	0.8%	-42.0%	46	0.6%	33	0.4%	-56.1%	291	3.2%	-67.4%	291	3.2%	291	3.2%	-67.4%	291	3.2%
減価償却費	2,166	6.7%	-7.0%	510	6.9%	-1.1%	518	6.6%	536	6.7%	-9.5%	602	6.7%	-10.6%	602	6.7%	602	6.7%	-10.6%	602	6.7%
商品・原材料仕入高	4,188	13.0%	+5.2%	861	11.7%	-1.0%	905	11.5%	973	12.1%	+6.7%	1,449	16.1%	+3.3%	1,449	16.1%	1,449	16.1%	+3.3%	1,449	16.1%
仕掛品増減高	-43	-0.1%	—	-213	-2.9%	+2.6%	193	2.5%	193	2.5%	—	-301	-3.7%	—	-301	-3.7%	-301	-3.7%	—	-301	-3.7%
地勘定振替高	-714	-2.2%	-0.8%	-28	-0.4%	+0.2%	-54	-0.7%	-82	-1.0%	-0.4%	-550	-6.1%	-0.4%	-550	-6.1%	-550	-6.1%	-0.4%	-550	-6.1%
有価物売上控除額(△)	-535	-1.7%	+6.8%	-137	-1.9%	-0.5%	-132	-1.7%	-137	-1.7%	+7.8%	-128	-1.4%	+7.8%	-128	-1.4%	-128	-1.4%	+7.8%	-128	-1.4%
売上総利益	7,096	22.0%	-2.1%	1,490	20.2%	-5.2%	1,763	22.4%	1,925	23.9%	-1.7%	1,918	21.3%	-5.4%	1,918	21.3%	1,918	21.3%	-5.4%	1,918	21.3%
販売費及び一般管理費	4,970	15.4%	-0.9%	1,282	17.4%	-0.2%	1,234	15.7%	1,229	15.3%	-1.2%	1,225	13.6%	-5.8%	1,225	13.6%	1,225	13.6%	-5.8%	1,225	13.6%
人件費	3,058	9.5%	-0.5%	800	10.8%	+6.3%	771	9.8%	753	9.4%	-4.8%	734	8.2%	-4.9%	734	8.2%	734	8.2%	-4.9%	734	8.2%
その他経費	1,912	5.9%	-3.0%	482	6.5%	-0.5%	463	5.9%	476	5.9%	-0.6%	491	5.5%	-0.6%	491	5.5%	491	5.5%	-0.6%	491	5.5%
(注) のれん償却	65	0.2%	-0.4%	18	0.2%	-60.4%	18	0.2%	18	0.2%	-60.4%	12	0.1%	-60.4%	12	0.1%	12	0.1%	-60.4%	12	0.1%
営業利益	2,126	6.6%	-1.1%	208	2.8%	-5.0%	529	6.7%	696	8.7%	-0.6%	693	7.7%	-4.5%	693	7.7%	693	7.7%	-4.5%	693	7.7%
営業外収益	120	0.4%	-13.0%	33	0.4%	+2.1%	23	0.3%	31	0.4%	+0.6%	34	0.4%	-27.4%	34	0.4%	34	0.4%	-27.4%	34	0.4%
(注) 持分法による投資利益	15	0.0%	—	8	0.1%	—	1	0.0%	4	0.1%	—	2	0.0%	+454.8%	2	0.0%	2	0.0%	+454.8%	2	0.0%
営業外費用	432	1.3%	+74.2%	246	3.3%	+280.2%	56	0.7%	61	0.8%	-13.7%	68	0.8%	+60.8%	68	0.8%	68	0.8%	+60.8%	68	0.8%
(注) 貸倒引当金繰入	191	0.6%	—	191	2.6%	—	—	—	—	—	—	0	0.0%	—	0	0.0%	0	0.0%	—	0	0.0%
支払利息	162	0.5%	+6.1%	40	0.5%	+6.5%	41	0.5%	42	0.5%	+4.0%	40	0.4%	+5.8%	40	0.4%	40	0.4%	+5.8%	40	0.4%
経常利益	1,814	5.6%	-20.9%	-6	-0.1%	-7.3%	495	6.3%	666	8.3%	-1.0%	659	7.3%	-9.2%	659	7.3%	659	7.3%	-9.2%	659	7.3%
特別利益	40	0.1%	-29.9%	10	0.1%	—	12	0.1%	11	0.1%	-62.0%	8	0.1%	-62.0%	8	0.1%	8	0.1%	-62.0%	8	0.1%
特別損失	952	3.0%	+205.8%	201	2.7%	+3.9%	644	8.2%	2	0.0%	-98.5%	105	1.2%	-98.5%	105	1.2%	105	1.2%	-98.5%	105	1.2%
税金等調整前当期純利益	902	2.8%	-60.9%	-197	-2.7%	-10.0%	-137	-1.7%	675	8.4%	-0.7%	562	6.2%	-6.1%	562	6.2%	562	6.2%	-6.1%	562	6.2%
法人税・住民税及び事業税	723	2.2%	-15.3%	141	1.9%	-1.2%	147	1.9%	131	1.6%	-0.7%	304	3.4%	-29.2%	304	3.4%	304	3.4%	-29.2%	304	3.4%
法人税等調整額	-203	-0.6%	—	-99	-1.3%	-1.2%	-91	-1.2%	134	1.7%	+118.2%	-147	-1.6%	+118.2%	-147	-1.6%	-147	-1.6%	+118.2%	-147	-1.6%
非支配株主に帰属する当期純利益	107	0.3%	+32.5%	33	0.5%	+70.3%	52	0.7%	-10	-0.1%	+22.2%	31	0.3%	—	31	0.3%	31	0.3%	—	31	0.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	276	0.9%	-79.7%	-273	-3.7%	-7.7%	-246	-3.1%	420	5.2%	-0.9%	373	4.2%	-12.9%	373	4.2%	373	4.2%	-12.9%	373	4.2%

※百万円未満 四捨五入

貸借対照表の動向（資産）（連結）

単位:百万円

	2018/3		2019/3		
		構成比		構成比	増減額
(資産の部)					
流動資産	21,007	31.3%	18,591	26.2%	-2,416
現金及び預金	13,155	19.6%	9,387	13.2%	-3,768
受取手形及び売掛金	5,552	8.3%	5,911	8.3%	+359
商品及び製品	28	0.0%	21	0.0%	-7
仕掛品	805	1.2%	915	1.3%	+110
原材料及び貯蔵品	987	1.5%	1,120	1.6%	+133
未収入金	218	0.3%	845	1.2%	+627
その他	268	0.4%	399	0.6%	+131
貸倒引当金	-7	-0.0%	-10	-0.0%	-3
固定資産	45,277	67.4%	51,549	72.6%	+6,272
有形固定資産	42,158	62.8%	48,229	67.9%	+6,071
建物及び構築物	8,416	12.5%	9,756	13.7%	+1,340
機械装置及び運搬具	6,681	10.0%	8,541	12.0%	+1,860
最終処分場	660	1.0%	494	0.7%	-166
土地	17,054	25.4%	18,311	25.8%	+1,257
建設仮勘定	8,832	13.2%	10,691	15.0%	+1,859
その他	513	0.8%	433	0.6%	-80
無形固定資産	863	1.3%	856	1.2%	-7
のれん	342	0.5%	277	0.5%	-65
その他	520	0.8%	579	0.8%	+59
投資その他の資産	2,255	3.4%	2,463	3.5%	+208
投資有価証券	513	0.8%	468	0.7%	-45
退職給付に係る資産	86	0.1%	111	0.2%	+25
繰延税金資産	294	0.4%	338	0.5%	+44
その他	1,451	2.2%	1,829	2.6%	+378
貸倒引当金	-90	-0.1%	-286	-0.4%	-196
繰延資産	857	1.3%	906	1.3%	+49
資産合計	67,141	100.0%	71,047	100.0%	+3,906

*百万円未満切捨て

- ⇒ 現金及び預金 <減少要因> 設備投資に手元取り崩し
- ⇒ 受取手形及び売掛金 <増加要因> ・株タケエイ:東北復興PJ関連(+144) ・富士車輛株:環境プラント及びサービス(+155)
- ⇒ 仕掛品 <増加要因> ・富士車輛株(+81)
- ⇒ 原材料及び貯蔵品 <増加要因> ・富士車輛株(+123)
- ⇒ 未収入金 <増加要因> ・株花巻銀河パワー:交付金(+108) ・株大仙BE:2月より稼働(+283)
- ⇒ 建物 <増加要因> ・株タケエイ 相馬事業所:解体終了に伴う(+502) ・株大仙BE:2月より稼働(+844)
- ⇒ 機械装置 <増加要因> ・株大仙BE:2月より稼働(+2,300)
- ⇒ 土地 <増加要因> ・株タケエイ 相馬事業所:解体終了(+1,249)
- ⇒ 建設仮勘定 <増加要因> ・株北陸環境サービス:次期管理型処分場(+943) ・株門前クリーンパーク:新規管理型処分場(+1,330) ・株タケエイグリーンリサイクル(+343) ・株横須賀BE:新規木質バイオマス発電事業(+573) <減少要因> ・株タケエイ:相馬事業所:解体終了に伴う(-1,915) ・株大仙BE:2月より稼働(-958)

貸借対照表の動向（負債及び純資産）（連結）

単位:百万円

	2018/3		2019/3		
		構成比		構成比	増減額
(負債の部)					
流動負債	10,977	16.4%	12,668	17.8%	+1,691
買掛金	1,245	1.9%	1,594	2.2%	+349
短期借入金	762	1.1%	732	1.0%	-30
1年内返済予定の長期借入金	5,818	8.7%	5,643	7.9%	-175
未払法人税等	458	0.7%	386	0.5%	-72
修繕引当金	21	0.0%	59	0.1%	+38
機械式立体駐車場関連損失引当金	-	-	786	1.1%	+786
その他	2,669	4.0%	3,463	4.9%	+794
固定負債	28,372	42.3%	31,418	44.2%	+3,046
長期借入金	26,514	39.5%	28,835	40.6%	+2,321
繰延税金負債	564	0.8%	377	0.5%	-187
退職給付に係る負債	334	0.5%	348	0.5%	+14
修繕引当金	45	0.1%	31	0.0%	-14
役員株式給付引当金	38	0.1%	39	0.1%	+1
資産除去債務	450	0.7%	465	0.7%	+15
圧縮未決算特別勘定	-	-	617	0.9%	+617
その他	424	0.6%	703	1.0%	+279
負債合計	39,350	58.6%	44,087	62.1%	+4,737
(純資産の部)					
株主資本	26,791	39.9%	25,992	36.6%	-799
資本金	6,640	9.9%	6,640	9.3%	-
資本剰余金	7,262	10.8%	7,180	10.1%	-82
利益剰余金	13,798	20.6%	13,486	19.0%	-312
自己株式	-910	-1.4%	-1,314	-1.8%	-404
その他の包括利益累計額	140	0.2%	76	0.1%	-64
その他の有価証券評価差額金	114	0.2%	68	0.1%	-46
退職給付に係る調整累計額	25	0.0%	7	0.0%	-18
非支配株主持分	860	1.3%	891	1.3%	+31
純資産合計	27,791	41.4%	26,960	37.9%	-831
負債及び純資産合計	67,141	100.0%	71,047	100.0%	+3,906

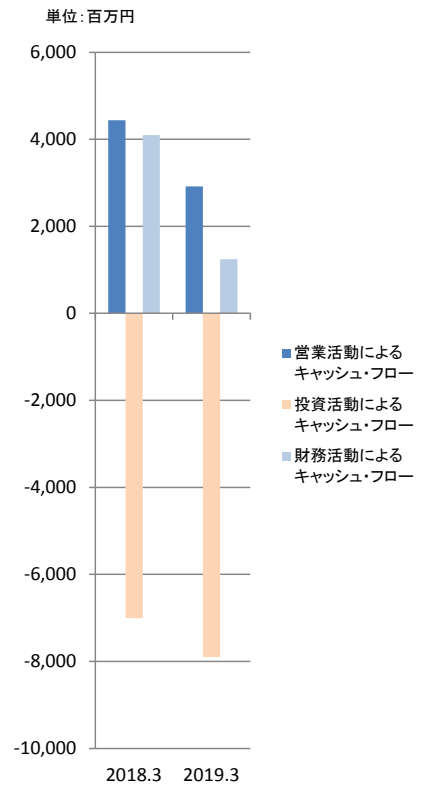
*百万円未満切捨て

- ⇒ 買掛金 <増加要因> ・富士車輛株(+226) ・株大仙BE(+53)、株大仙こまち(+72)
- ⇒ 未払法人税等 <減少要因> ・株北陸環境(-52)、富士車輛株(-111)
- ⇒ 機械式立体駐車場関連損失引当金 <増加要因> ・富士車輛株(+786)
- ⇒ 未払金 <増加要因> ・株タケエイ(+220) ・株タケエイグリーンリサイクル(+124) ・株大仙BE(+124)
- ⇒ 圧縮未決算特別勘定 <増加要因> ・株大仙BE:2月より稼働(+617)
- ⇒ 利益剰余金 <増加要因> ・親会社株主に帰属する当期純利益(+275) <減少要因> ・配当(-588)
- ⇒ 自己株式 <減少要因> ・株タケエイ(-404)

単位：百万円

	2018/3	2019/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,439	2,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	-7,003	-7,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,097	1,243
現金及び現金同等物の増減額(マイナスは減少)	1,533	-3,739
現金及び現金同等物の期首残高	11,128	12,661
現金及び現金同等物の期末残高	12,661	8,922

※百万円未満切捨て



<主な内訳>

単位：百万円

	2018/3	2019/3
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,306	902
減価償却費	2,512	2,396
機械式立体駐車場関連損失引当金	-	786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-6,953	-8,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	11,122	8,190
長期借入金の返済による支出	-5,536	-6,053

設備投資・減価償却費および従業員数・車両台数の推移 (連結/個別)

<設備投資・減価償却費>

単位：百万円

	2018/3 (通期)	2019/3 (通期)	2020/3予想 (通期)
設備投資			
連結	7,348	8,817	10,066
(うち ㈱タケエイ)	2,589	1,112	1,700
減価償却費			
連結	2,512	2,397	3,362
(うち ㈱タケエイ)	1,064	1,034	1,384
のれん償却	172	65	49

※百万円未満 四捨五入

<従業員数・車両台数>

	2018/6	2018/9	2018/12	2019/3
期末従業員数 (人)				
連結	1,264	1,266	1,285	1,277
(うち ㈱タケエイ)	610	607	611	608
収集運搬車両 (台) 単体	284	280	279	278

主な設備投資 2019年3月期 実績

㈱タケエイ	設備・車両更新、大木戸処分場拡大など	11億円
㈱北陸環境サービス	新処分場造成工事	9億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	13億円
㈱タケエイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	4億円
㈱田村バイオマスエナジー	発電施設整備	15億円
㈱横須賀バイオマスエナジー	発電施設整備	5億円
㈱大仙バイオマスエナジー	発電施設整備	24億円

主な設備投資 2020年3月期 計画

㈱タケエイ	設備・車両更新、大木戸処分場拡大など	17億円
㈱北陸環境サービス	新処分場造成工事	9億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	22億円
㈱タケエイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	2億円
㈱田村バイオマスエナジー	発電施設整備	12億円
㈱横須賀バイオマスエナジー	発電施設整備	22億円

<決算見通し>

単位：百万円

	2019/3 <実績>		2020/3 <予想>			上期 <予想>		下期 <予想>	
		売上高比		売上高比	前期比		前年同期比		前年同期比
売上高	32,271	—	35,000	—	8.5%	16,100	5.6%	18,900	11.0%
営業利益	2,125	6.6%	2,600	7.4	22.3%	900	22.2%	1,700	22.4%
経常利益	1,814	5.6%	2,350	6.7	29.5%	800	63.5%	1,550	17.0%
当期純利益◆	275	0.9%	1,300	3.7	371.6%	340	—	960	21.0%

◆親会社株主に帰属する当期純利益 ※百万円未満切捨て

プラス要因

- ・東京オリンピック・パラリンピック関連プロジェクトが完工を迎えること
- ・単価改定の成果が出始めること

マイナス要因

- ・外部処理費が依然として高い傾向にあること



Only One Earth
環境を守ることは 未来を守ること。

ご参考



（株）横須賀バイオマスエナジー（3月撮影）。画面右手は発電設備。左側は燃料棟。



前処理棟
(車の荷台から木くずを降ろす受入ヤード)



木くずを運搬するベルトコンベア
(実際の稼働時にはカバーをかけ、飛散防止)



破碎処理棟
(前処理棟から運ばれてきた木くずを用途別の大きさに分けて破碎)



破碎された木質チップは、
破碎処理棟外側のヤードにて貯留

《新工場建設によって得られる効果》

- ・事務所と工場を同じ敷地内に統合し、生産ラインの動線等を見直し
⇒業務の効率化
- ・メインの木くず破碎機が大幅に能力アップ
⇒1日の破碎量が140t→200t以上に増え、稼働時間の短縮も可能に
- ・前処理棟から破碎処理棟へ渡るベルトコンベアを設置
⇒作業員の身体的負担を軽減 (作業環境の向上)

10mm以下に破碎したチップ・・・家畜用敷料として近郊の酪農家へ販売
(販売した敷料を使って酪農家が作られた堆肥を買い戻し、大手ホームセンターにて好評販売中)
10～50mmに破碎したチップ・・・燃料として製紙会社等へ納入



2019年5月10日、工場にて竣工式を行いました。



代表取締役社長 秋庭勉のご挨拶

福島県における復興プロジェクトへの参画

①安達地方における農林業系廃棄物等処理業務 (一次請) ※2019年4月より負荷運転、6月より本格稼働予定

二本松市内に建設された仮設焼却施設へ、二本松市、本宮市及び大玉村の 3市村に保管されている農林業系廃棄物、可燃性除染廃棄物を収集運搬する業務及びその受入・前処理業務

農林業系廃棄物とは
原発事故により放射性物質に汚染され一時保管されている、稲わら、牧草、堆肥、ほだ木など

②閉閑所農林業系廃棄物処理業務 (一次請)

田村市と川内村の境界に建設された仮設焼却施設に、福島県の県中地域、県南地域、いわき市、会津の一部(24市町村)に一時保管されている農林業系廃棄物を収集・運搬する業務

③葛尾村広域処理における可燃性除染廃棄物等の収集運搬業務 (当社受託)

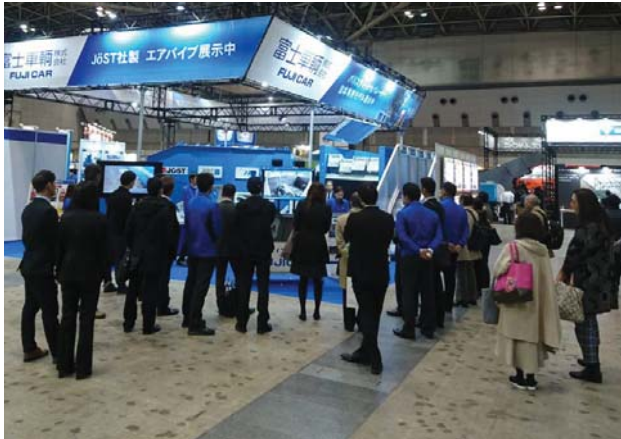
※2019年3月末で業務完了

「葛尾村仮設減容化施設」内ストックヤードへ、田村市・三春町・葛尾村の仮置場に保管されている可燃性除染廃棄物を収集・運搬する業務

④双葉町減容化施設 (中間貯蔵施設) における廃棄物処理その1 (一次請) ※2020年3月より本格稼働予定

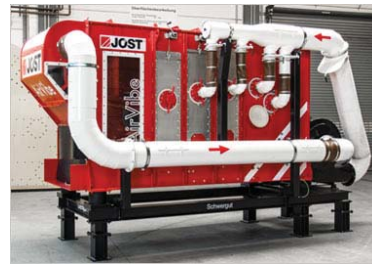
- 双葉町仮設焼却施設へ「可燃性除染廃棄物、津波廃棄物、片づけごみ及び家屋解体廃棄物など」を収集運搬する業務
- 双葉町仮設灰処理施設へ「中間貯蔵施設内に搬入された焼却灰及びびはいじん」と、双葉町仮設焼却施設にて焼却後に発生した焼却灰及びびはいじんを収集運搬する業務

中間貯蔵施設とは
福島県内の除染に伴い発生した土壌や廃棄物等を、最終処分までの間、安全に集中的に貯蔵する施設。
東京電力福島第一原子力発電所を取り囲む形で、双葉町・大熊町に整備される。 出典：環境省 中間貯蔵施設情報サイト



2019年3月12日～15日の4日間、東京ビッグサイトにて開催。富士車輛(株)のブースには約770人ご来場頂きました。

ドイツJOST社製「エアパイプ」



新製品

バランスの取れた振動と風力の併用により、効果的な選別効果が得られる高精度選別機。

※ 富士車輛(株)はJOST (ヨースト) 社の日本総代理店です。

ドイツSTADLER社製

「パリスティックセパレータ (STT5000S) 」



混合廃棄物を形状別 (2D/3D) に選別する、画期的な選別機。

※富士車輛(株)は、STADLER (スタッドラー) 社の日本総代理店です。

「缶碎名人Jr. (かんさいめいじんジュニア) 」



岩谷産業(株)様との
二社共同開発

カセットコンロ用のガス缶や殺虫剤・化粧品のエアゾールスプレー缶を廃棄する際、使い切らずに残留している可燃ガスを効率よく分離し、安全かつ適正に処理する装置。処理後の缶も金属リサイクル原料として再利用が可能。

中身の残った缶は、廃棄する際に不適切な方法で穴を開けると爆発や火災などの事故を引き起こす恐れがある。適正かつ安全な廃棄処理のため、いくつかの自治体で「缶碎名人Jr.」の導入が始まっており、今後もその動きは加速する見込み。

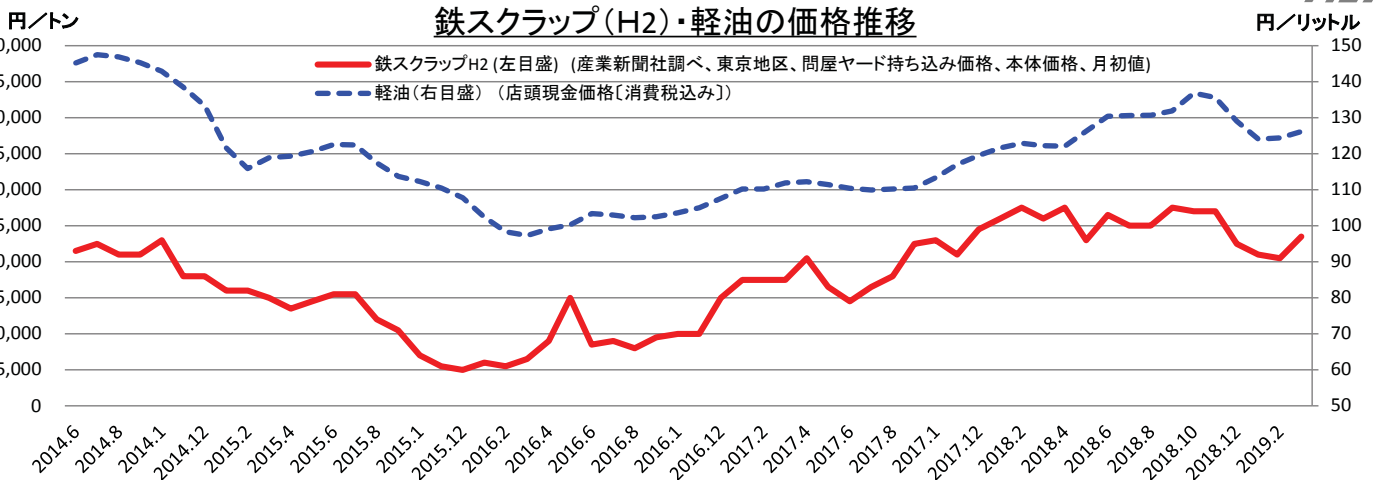
チップングローリープレス車「CUTICK(キューティック)」



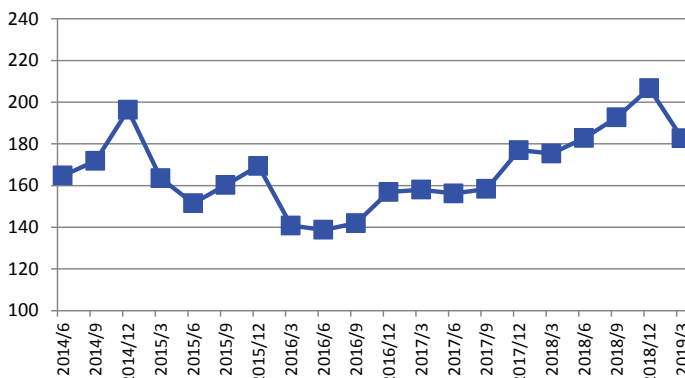
自社開発
特許出願中

剪定枝破砕機を搭載。剪定現場でバイオマス燃料用チップ化し、効率的な処理・運搬の両立を実現。

軽油及びスクラップ価格と当社グループに与える影響



㈱タケエイ(連結)の燃料費推移



㈱タケエイ金属の売上高推移

